

会議の概要

令和4年度 第4回 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会 ○ 玉井幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会 ○ 玉井小学校学校運営協議会
○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和4年10月4日（火）18:30～20:30

場 所：改善センター 全体会：多目的ホール（1階）

分科会：大山幼・玉井幼…多目的ホール、大玉中…健康相談室（1階）

玉井小…農事研修室、大山小…農事相談室（2階）

（進行 指導主事 渡邊 博樹）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

みなさん、こんばんは。先日は大変お世話になりました。ありがとうございました。これより令和4年度第4回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。本日もよろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

- 改めましてみなさん、こんばんは。本日はお忙しい中、また、お疲れのところお集まりいただきましてありがとうございます。本日、朝から5年ぶりとなる北朝鮮の弾道ミサイルの日本上空通過ということもあり、昨今の国際情勢等を考えた時にはいつ何が起きてもおかしくないという危機感を感じています。子どもたちの安全・安心を守っていくために、私たち大人が何ができるのか、何をすべきなのかということを改めて考えなくてはならないという思いを強くしたところです。
- 10月1日（土）に小・中学生を対象としたおおたま・オータム・フェスタを開催いたしました。CS委員の皆さまや小・中学校の教職員の皆さま、そしてボランティア、協力団体の皆さまのご協力によって、子どもたちとのふれあい、交流の機会を提供できたものと思っております。3年ぶりの開催ということでしたので、前回を経験している教職員も限られ大きな負担をおかけした部分もあったかと思いますが、活動中の子どもたちの姿であったり、あるいは実施後の子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。課題もいろいろと出てきていることかと思いますが、今後その検証や改善策の検討等をしていただいて、許容できる負担の中で最大限の効果を上げられるよう知恵を出し合って、次につなげていけたらなと思っております。ご協力をお願いいたします。
- 本日は全国学力・学習状況調査及びふくしま学力調査の概要を説明し、それを踏まえて熟議をしていただく予定にしております。結果は結果として受け止めた上で、子どもたちの自己有用感の高まりであったり、あるいは学習に向かう姿勢、地域への思い等の子どもたちのよさを今後も伸ばしていく視点でお話し合いいただければと思います。また、後半ではコミュニティ広場についての話し合いも行われます。子どもと地域の大人が、共に地域の未来を語り合う場になるようご審議をお願いします。
- 「6 その他」で担当より説明させていただきますが、以前から話しておりました通り、このCS



と地域学校協働活動の一体的な推進に向けて、CS委員の皆さまには地域学校協働本部の（事業推進及び評価・検証を行う）地域教育協議会委員を兼ねていただきたいと思います。これは、この2つの仕組みの連携をより強化できるようにするためのものです。取組そのものは別のものですので、これを単に1つの仕組みにしてしまうということとは違いますので、その辺は誤解のないようにしていただきたいのですが、CSの話し合いの中で出たことが、そのまま地域学校協働活動につながり、より素早く適切な支援や協働活動を行うことができるものと考えますのでご理解いただきたいと思います。

長くなってしまいましたが、今日は中学生の傍聴者も一人いて大変嬉しく思っております。（ただし、学力調査の部分は一時退席いただくようになりますが…。）本日もよろしくお願いいたします。

3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 伊藤 和弥）

- 改めましてお晩でございます。先日のおおたま・オータム・フェスタ本当にお疲れさまでした。皆さんが日焼けしている姿を見て、本当に頑張っていたんだなあと思い感謝の気持ちでいっぱいです。私は残念ながらいろいろな用が重なってしまい出席できず申し訳ありませんでした。

夏休み過ぎからコロナが猛威を振るい、9月中旬にはオータム・フェスタの開催は大丈夫なのかなと心配し事務局に質問させていただいたこともあったのですが、お陰さまで運良くコロナも落ち着いてきて開催できたことは嬉しく思います。「9月過ぎ」というと、私の職場を含めてどの職場も同様だったかと思うのですが、子どもがコロナに感染し家族に次々にうつってしまうことが多くありました。コロナに罹る人が増加し、そのために濃厚接触者も休まなくてはなくなりました。学校や職場等社会全体が大変になり、対応に迫られる事態になってしまって、コロナの怖さを実感しました。ただ、こういった中でも何とかできる範囲の中で実施できたことは、今後につながる一つの指標になったのかなと思います。

- 今日の後半には、私たちCS委員会が主体になって開催しておりますコミュニティ広場についての協議があります。どんなことをするのか、どんなふうに盛り上げていくのか等について相談してください。いろいろな意見があると思いますので、前年度の反省を確かめながら進めてほしいと思います。本日も限られた時間になってしまいますが、有意義な話し合いをしていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



4 諸連絡 本日の日程・内容について （指導主事 渡邊 博樹）

本日は大きく分けて以下の2点について協議を進める。

- 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和4年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について
 - ① 事務局より結果の説明（全体会）
 - ② 各園・各校での協議（分科会）
 - ・学校や地域・家庭でできそうなこと、やってみたいこと
 - ・グループ … 大山幼・玉井幼、玉井小、大山小、大玉中
 - ③ 全体共有（全体会場<多目的ホール>に戻って）
- 第4回コミュニティ広場について
 - ① 事務局より説明（全体会）
 - ② 各園・各校での協議（分科会）…内容・方法等について
 - ③ 全体共有（全体会場<多目的ホール>に戻って）
- その他<地域教育協議会のあり方について、「オータム・フェスタ」アンケートについて>

5 協議

(座長 おおたま学園CS委員会副会長 矢吹 吉信)

(1) 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果【大玉村概要】、令和4年度 ふくしま学力調査結果【大玉村概要】について

(座長) それでは、令和4年度 全国学力・学習状況調査結果、令和4年度 ふくしま学力調査結果についてについて事務局より説明願います。

① 事務局より説明 (渡邊指導主事)

～ 詳細は省略 ～

(座長) 只今事務局より説明がありましたが、これにつきまして皆様方から何かございますか。なかなか難しいですが…。この後25分間程度各校・園の協議の時間もありますので、どうしたらいいかということで熟議をしていただければと思います。盛り上がって時間が足りなくなるかもしれませんが、19時20分ごろにはこちらに戻って来ていただきたいと思います。それではご移動をお願いします。

～ 移 動 ～

② 小グループによる熟議 (各園・各校ごと)



③ 全体での共有

(座長) それでは、全員お揃いのようなので、全体共有ということで進めていきます。大玉中学校からお願いします。

ア 大玉中学校

(大玉中学校長 安田 浩明)

先程渡邊指導主事から説明があった通り、全国平均よりどの学年もやや下回っている状況です。学力向上に向けてお話しします。

- ・ やはり、50分の授業の中で定着を図っていく必要があります。さらには(授業を終えて)家庭に帰っての家庭学習、この学習がうまく機能していけばいいと思います。授業の中では、つまづいている生徒に対する個別の指導と、それを含めての授業の改善を図っていく必要があります。それから、定着を図るための繰り返しやドリル学習等を授業の中で少しでも時間を割いて展開していく

必要があるのではないかということで、授業のあり方をもう一度考えていかなければならないと思いました。

- ・ 定着を図るには授業の中だけでできることではありません。家庭と連携し協力をいただきながら家庭学習の習慣化を図っていく必要があると思います。

C S委員の皆さまには実態や状況を説明した中で、今の子どもたちの学力もそうですけれども、学習に向けた取組状況がなかなか厳しいということをお話ししました。

イ 玉井小学校 (玉井小学校長 佐藤 則之)

本校は、学力の実態としてはなかなか良いとは言いきれない現状があります。その辺を3つお話しさせていただきました。

- ・ まず、先生方一人一人の「指導力の向上」が最も重要であると私は思っています。小学校の場合は教科担任制ではなくて、基本的には担任の先生が全教科を教えます。やはり、先生の経験によってスキルの違いがあり、教え方のうまい先生もいるし、なかなかそういうふうにはいかない先生もいます。そういったところで子どもたちの力が“身につく”、“身につかない”ということが出てきてしまうので、まずは学校でしっかりと研修と指導を重ねて先生方個々の指導力の向上に努めていかなければならないと思っています。
- ・ 次に、家庭学習についてですが、いわゆる先生が毎日出す（与える）宿題で子どもたちは目一杯なんです。宿題をこなすということに一生懸命になって、中には「それはもういいです」「ノーサンキュー」と思う子もいます。例えば、家でやる勉強なんだから、子どもに任せる機会をつくってあげるのはどうなのかなと考えています。熟議の中で、子どもたちにフリー課題ということで家庭学習を任せたりする等、子どもが好きな時に熱中してできるような宿題や家庭学習があってもいい



のではないかとのご意見もいただきました。ただ、小学校では、どうしても宿題は学年であったり担任が決めて出すものなので、学校全体として統一性があるかということ、その辺が弱いところがあります。そういうところにもメスを入れて、子どもたちに任せる家庭学習にぜひ取り組んでいきたいと思っています。そうすることによって、子どもたちが自己決定をする機会、自己選択をする機会が積み重なっていけば、「知識・技能はいいが、思考・判断・表現は弱い」という部分も少しずつ底上げできるのではないかと考えています。

- ・ 最後に読書についてもご指摘いただきました。「推薦図書というのだが、あれは大人が薦めたものである。もしかしたら、子どもは別の本を読みたいのかもしれない。」と…。私たちは、子どもたちが、好きな本を読めるようなそんな機会も大切にするとすることを念頭に置いた上で、読書の時間を確保していく必要があると思いました。

ウ 大山幼稚園・玉井幼稚園 (玉井幼稚園副園長 後藤弥和子)

- ・ 幼稚園は一緒に熟議をしました。その中で、まずアンケートの結果を見て、「学校に行くことが楽しくない」の部分に一番私たちは引っかかって、「楽しくない理由は何だろう」、「子どもたちがそう思う理由は何かな」とすごく気になってしまいました。ぜひともそこを分析してほしいと思います。まずは、楽しく学校に行くことが一番大切ではないかという話になりました。
- ・ コロナ禍ということもあって、保護者が学校に行かなくなって先生たちと話をする機会が減ってしまいました。子どもたちがどんなところでつまづいているのか、どんなふうになっているのかが分からないということも問題ではないのか、やはり先生と保護者のつながりは大切なのではないかな等の意見が出ました。また、学力も大事ですが、人として大切なことを学ぶことも大事という意見

も出されました。

- ・ 先生方がいろんなことで忙しいということもあるし、行事とかに追われているのも分かるので、先生方が授業の準備に集中できる環境も必要ではないかという意見も出ました。
- ・ 幼稚園では、「園に行くのが楽しい!」と話してくれる子どもが多くいますが、それは、幼稚園で一つのこと（やりたいこと）に集中できる環境があるからではないかと思います。、学校においても集中して何かに取り組めるような環境をつくるのが大事なのではないかという意見も出ました。
- ・ 読書のことも出たのですが、家庭に帰ってから読書の時間をとることは、今はなかなか厳しい状況があるのではないかと思います。（例えば、中学生も部活が終わって夕方遅くにご飯を食べて、勉強して、さあ読書といっても難しいものがあるのかと…。）でも、読書はとても大切なことであるので、その時間を確保するためにはどうしたらいいかを考え、読書ができる環境を子どもたちにつくってあげることが大切ではないかという意見が出ました。



エ 大山小学校 （CS 副会長 矢吹 吉信）

学校でできること、家庭でできること、地域でできること、この3点について話し合いました。

<学校でできること>

資料（学力調査のアンケート結果）にもありますように、「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の設問に「嫌い」という回答が一定数見られています。これは学校にお願いしたいことではあるのですが、好きになるような授業とか課題提示等をしてほしいと思っています。好きになれば進んで学ぶと思いますので、まずはやりたくなるような課題、好きになるような授業を先生方に実施していただければと思います。

<家庭でできること>

1週間（月曜日から金曜日まで）学校で学んだことを土、日に保護者と振り返り、学び直し等をして、もし全てできない時には、月曜日あたりに「先生、うちの子はここができなかったから頼みます。」とかのコミュニケーションを学校と保護者でできるとよいのではないかというお話がありました。

<地域でできること>

大玉村では、“さくら”という放課後児童クラブがありますので、そこを利用して読書や課題、苦手なところの学習の見直しをやってみると、今後学力も向上するのではないかという話がありました。（家に帰ってしまうと夜7時になってしまい、それから何かやろうと思ってもなかなか難しい。）



（座 長）ありがとうございました。それでは、次に第4回コミュニティ広場について事務局より説明をお願いします。

（2）第4回コミュニティ広場（第14回教育フォーラム）について

① 事務局より説明 — 資料に基づいて説明 —

（渡邊指導主事）

- 目的
- 日時 令和5年2月18日（土）9：00～11：30
- 会場 改善センター
- 参加者

- ・ 本来は村民に広く周知をして、たくさんの方においでいただきたいが、今の状況（コロナ禍）

を考え参加者を限定する形をとる。→ 120名程度

○ 内容・方法

- ・ 第1部 … 小・中学校毎の発表（各校1～2名） ※保護者に対しては web 配信
テーマ「大いなる田舎 大玉村への思いとこれから」
- ・ 第2部 … 参加者によるグループ毎のフリートーク<16グループ(1グループ6～8人)>
グループで話し合ったことの共有
テーマ「大玉村の豊かな未来へのメッセージ～子どもたちに思いを託して～」
- ・ 日程について…マンネリ化したところがあるのであれば、話し合っ変えたいところについて提案してほしい。

○ 今後の予定

- ・ 12月12日（月）の第7回CS委員会で修正案の確認、1月12日（木）の第8回CS委員会で最終確認をする。
- ・ 1月6日（金）の校長会の際に開催の方向性を確認する。変更が必要な場合は1月12日（木）のCS委員会で最終確認をする。関係者に参集いただく形での開催が難しい場合は、保護者、関係者に限定した動画配信に変更する。

○ その他

- ・ 開催にあたっては新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえて判断する。また、2月半ばの開催はインフルエンザ流行期や受験シーズンと重なる部分もある。どのように開催したらいいかについてもご協議いただきたい。

（座 長） 只今事務局より説明していただきましたが、これについて何かあればお願いします。この後、各校園ごとの熟議があるわけですが、「これだけは聞いておきたい」「これだけは聞いて熟議に臨みたい」とかあれば…。

（今野委員） 計画案の「7内容・方法」のところで、「※保護者には発表の様子をオンラインで web 配信する」というところがあります。昨年度も web 配信があったと思うのですが、参考までに昨年の〇〇回視聴したというデータが残っていれば教えてください。

（佐藤CSディレクター） 100回台で、以外と少なかったと思います。＜正確には128回＞

（座 長） この辺りも早めにアピールする等手立てをとって取り組みたいと今思いました。その他こんなことを聞いておきたいこと等がございましたら…。なければ、全体での共有もありますので熟議をして共有の際にでも出してください。また、不明な点がありましたら声をかけていただきたいと思います。もう一度先程の場所に移動となります。熟議後20時10分を目安にお戻りください。よろしくお願いします。

— 移 動 —

② 小グループによる熟議（各園・各校ごと）



③ 全体での共有

(座 長) 全体での共有に移ります。今回は大山小学校からお願いします。

ア 大山小学校 (CS副会長 館下 愛理)

- ・ 第1部、第2部共に事務局が出してくれた内容でいいのではないかと思います。実施方法についても、人数についてもこの案通りでよいと思います。
- ・ 新型コロナやインフルエンザの感染状況により実施をどうするかということですが、(県から詳しいデータが発表されないので) お正月明けぐらいに各校園でどれくらいの感染状況なのかによって判断していいのではないかと思います。
- ・ 第1部の小・中学生の発表の件なのですが、各学校で総合的な学習の時間に学んだことについて発表してくれるとは思いますが。今までは大玉村のよさについての発表が多かったと思うのですが、それプラス課題的なものを一緒に提起してもらおうと、第2部のフリートークの流れにもっていきやすいのではないかと思います。



イ 玉井小学校 (玉井小学校長 佐藤 則之)

私たちの話し合いは主にテーマについての話になりました。

- ・ 第1部の「大なる田舎 大玉村への思いとこれから」というテーマは、子どもたちにとって難しいのではないかと思います。テーマをもう少し分かりやすくすると思います。また、子どもたちを交えたディスカッションが第2部に予定されているので、子どもたちもその話の中身に入っていけることが大事です。こちらから子どもたちに話を返していくということも当然出てくると思いますが、もう少し分かりやすいテーマにすべきだろうという話になりました。
- ・ 第2部のテーマ「大玉村の豊かな未来へのメッセージ ～子どもたちに思いを託して～」のサブテーマ「子どもたちに思いを託して」は、言ってみれば大人側からという解釈ができます。だから、これはなくてもいいのではないかと思います。これがない方が私たちCS委員、保護者、教職員も含めて地域の方がフリーに話ができるのではないかと思います。誰を中心に話し合いをするのかということです。
- ・ 子どもたちの意見をもとにそこから第2部に入っていくので、先程大山小からもあったような提案案制(課題を提起するようなこと)は子どもたちには難しいと思います。子どもたちは総合的な学習で村のいいところとか人とかを学んで、「ぼくらはこんな素敵なことを発見しましたよ」というところで発表を終えます。そこに課題と言われても、はたして子どもたちから出てくるのかが心配です。ただ、そこは先生方に骨を折ってもらうしかないのかと思ったりもしていますが…。
- ・ 発表する学年のところが疑問だったのですが、6年生なんですよ。本校の場合、どの学年も大玉村をベースにして学んでいます、それぞれ視点が違ってきます。(ただ、6年生は、「今年は自分たちの出番だ!」という気持ちがあるので、否定はできないですが…) 学年は6年生限定でよかったのか確認させていただきたいと思います。

ウ 大玉中学校 (CS会長 伊藤 和弥)

中学校では今言われたようなことも話題になりました。

<第1部について>

- ・ これは総合的な学習の時間です。すでに各学校で内容を進めたり、発表したりしていて、それを改めてこのコミュニティ広場で発表するという形なのですが、これは人々が集まっているとすごく盛り上がるんですよ。発表してもらった後の第2部で…。これに関しては、これを変更することは大変なことです。このままでいいと思います。あとはオンラインでのweb配信ですが、先程昨年はアクセス数が結構少なかったというお話もありましたので、配信する方法を録画で後日配信する

のか、生配信するのか等話は出たのですが、撮影方法を工夫すると視聴も増えるのではないかなという意見が出ました。(後ろから撮るだけでなく、撮影に変化をもたせる等)

＜第2部について＞

- ・ ここ数年できなかったわけですが、以前やった時にはすごく盛り上がっていました。第1部の内容を受けたり、受けなかったりいろいろありましたが…。また、課題があればなおよく、発表の内容にもよるのですが、多少班によって大雑把に題目があればもう少し話しやすくなります。CS委員の皆さんに話題を提供したりとかの司会のような役割を果たしていただいて、内容を検討する時間があれば、もっと充実したものにできるのではないかなと思います。

＜その他＞

- ・ 参加者の中に各種団体の関係者や企業関係者を少しでも増やせるのであれば、様々な角度から話題提供がなされ、そのような視点に立った話し合いができるのではないのでしょうか。

エ 大山幼稚園・玉井幼稚園 (CS委員 今野 裕三)

玉井幼稚園、大山幼稚園合同で話し合いをもちました。

- ・ まず、素朴な疑問ということで、「なぜ2月18日なのか」ということが出されました。年度末でいろいろと忙しく動いている時期なのではないかなという話も出ました。いろんなものが考慮されてこの時期が設定されていると思うのですが、検討の余地はないかなという意見が出たことをお伝えしたいと思います。
- ・ 「7内容・方法」についてですが、第1部、第2部各々のテーマが掲げられているのですが、(無責任な意味ではなく)テーマというものを無くして、児童・生徒たちが発表したいものを発表させるという方法はどうなのかなという意見が出されました。それで、第2部では発表を受けてそれぞれグループ協議を進めるという形にしてもできるのではないかなという話が出されました。
- ・ 参加人数が絞られているのですが、改善センターより広い場所を使って、もっと多くの保護者が参加できるような設定はできないのかという意見も出されました。どうしても発表に参加する児童・生徒の親御さんだけとか、CS委員だけだったりとか、内輪の集まりになってしまっている傾向があります。ねらいの中には、本来もっと小・中学生をもつ親御さんに興味や関心をもっていただきたいということが入っているので、やはり狭い場所ではそういったことが実現できないので、(小・中学校の体育館等の)もっと広い場所を使ってより多くの保護者が集まれるような会場づくり、環境作りを検討してはどうかという意見も出されました。
- ・ 学力向上のための行事のあり方についても再検討が必要だと思います。



(3) 全体での意見交流

(座長) 貴重なご意見本当にありがとうございました。そうしますと、全体での意見交流ということで、日程、テーマ、参加児童の学年、参加者(人数)、場所等についていろんなご意見が出ました。その辺を踏まえて、どのように進めていったらよいでしょうか。

(渡邊指導主事) 開催時期については、各校園でどの日程がいいかということで昨年度行事調整の中で話し合われて、この辺りだろうということで予定したのだと思います。ただ、どうしても違う日がいいだろうということであれば、今ここで決めることはできませんので、校長会等で確認しながら決めていきたいと思います。場所につきましても、広い場所がいいと今私も感じているところです。改善センターでは人数制限が厳しいので、もし貸していただける場所があるのでしたらお借りして、コロナ等が流行拡大していないという条件付きではありますが、もっと大きな部屋で多くの人たちとコミュニティ広場ができればいいなあと考えております。貸していただける場所があればお願い

して借りるようにしていきたいと思います。

(座 長) 学力の問題については、(原因や解決策等について) もう少し煮詰めた方がいいのではないかとこの保護者の意見があったということで、私もその考えに同感です。ここで話が終わって来年また同じような状態にならないようにしたいですし、また、何らかの機会を設けて(協議等に)取り組んでいった方がいいのではないかと感じています。毎年同じことを繰り返すのではなくて、昨年度の反省において「プロジェクトチームを作った方がいい」という意見も出ていますので、どこかのタイミングで何か皆さんで知恵を出し合って、もうちょっと前に進んだ方がいいかなと…。時間も限られている中ではあるのですが、何か一步進んだ取組をしたいと考えております。貴重なご意見ありがとうございました。

そうしますと、10月28日(金)が玉井小のオープンスクールということもありますが、それまでの間に校長会はあるのでしょうか。

(渡邊指導主事) 予定されています。

(座 長) コミュニティ広場の日程、場所等について、事務局からこういった提案があったというような説明がほしいということもございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

他に皆さんから何かありますか。

(麻生委員) 学力調査についてなのですが、学力向上とか学び直し、ICT活用とかをいっぺんに解決できる方法を思いついたのですが…。一人1台タブレットが配られているんですよ。学校が休校だった時にリモート授業を受けて、わが子と「リモートの授業はいいね。」と話したんですが、休んだ時だけではなくて、できれば録画できるようになればいいかなと思っています。録画できるようになれば家でもう1回復習できますよね。早回しとかもできるし、先生はここを何と言っていたのかと巻き戻しをして確かめたりとか、そんな使い方ができないかなと思っています。保護者の協力とかと言っても難しいので、(一步進んだ)タブレットの活用ができないかなと…。(小・中学校共に)



秋田県は学力が高いという話を聞いたのですが、そちらではCSを導入しているのかどうかは分からないのですが、どういう取組をしているのか勉強会をしたいかなと思っています。見学はできないと思うので話だけでも聞きたいです。

(座 長) 秋田のことは玉井小の佐藤校長先生が詳しいと思います。宿題を出さないとか等の教育をしているという話をお聞きしたことがあります。そういう勉強会をCS委員会でできるといいと思います。タブレット活用については、かなり効果的であると渡邊指導主事と話していたのですが、ただ、先生方の負担も大きいということなので、バランスを考えてやっていった方がいいのかなと思いました。

いろいろ課題はありますが、みなさん、大丈夫でしょうか…。

(CS委員) — 特にない様子 —

(座 長) それでは、ここで協議を終わりたいと思います。ご協力ありがとうございました。

(渡邊指導主事) ありがとうございます。課題については、次回以降のCS委員会で話し合っていければいいと思います。話題を出していきたいと考えています。

6 その他

- 地域教育協議会（大玉村地域学校協働活動本部）について （社会教育係長 田辺 将裕）
 - C S 委員会と地域学校協働活動本部の連携・協働した教育活動をより一層推進するため、地域教育協議会委員をC S 委員が兼務する。（「大玉村地域学校協働本部要綱<改訂版>」、「令和4年度大玉村地域学校協働本部 地域教育協議会委員名簿」参照）
 - C S 委員会において地域教育協議会の審議、評価・検証を行う。
 - ・第1回（第1回C S 委員会<5月>）…計画案等の説明
 - ・第2回（1月～2月）…本年度地域学校協働活動事業内容の評価・検証（アンケートによる）
 - ・第3回（第9回C S 委員会<2月>）…評価・検証結果の概要、令和5年度計画案審議
- オータム・フェスタアンケート提出のお願い（10月11日まで）

7 閉会のことば

（おおたま学園C S 委員会副会長 館下 愛理 ）

盛りだくさんの内容でお疲れさまでした。これで令和4年度第4回おおたま学園C S 委員会を終わります。ありがとうございました。